

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2016年10月20日〔当初、2023年11月24日〕まで (2013年2月20日設定)	
運用方針	世界高利回り社債マザーファンド（為替スマートヘッジ）受益証券への投資を通じて、主として日本を除く世界の高利回り社債等に投資を行い、利子収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。原則として世界高利回り社債マザーファンド（為替スマートヘッジ）において市況環境等に応じて為替ヘッジ比率を柔軟に調整します。マザーファンドにおける債券等（為替ヘッジのために行う外国為替予約取引等を含みます。）の運用にあたっては、ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社に運用の指図に関する権限を委託します。また、ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社は委託を受けた運用の指図に関する権限のうち、米ドル建て債券等の運用をウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーに、ユーロ建ておよび英国ポンド建て債券等の運用をウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッドにそれぞれ更に委託します。	
主要運用対象	ベビード ファンド	世界高利回り社債マザーファンド（為替スマートヘッジ）受益証券を主要投資対象とします。
	マザー ファンド	日本を除く世界の高利回り社債等を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビード ファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザー ファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

償還報告書（全体版）

〔繰上償還〕

世界高利回り社債ファンド （為替スマートヘッジ）

信託終了日：2016年10月20日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「世界高利回り社債ファンド（為替スマートヘッジ）」は、約款の規定に基づき、先般ご案内申し上げました予定通り、10月20日に繰り上げて償還させていただきました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目 12 番 1 号
URL:<http://www.am.mufg.jp/>

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034
(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)
お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

◆目次

世界高利回り社債ファンド（為替スマートヘッジ）のご報告

◇設定以来の運用実績	1
◇当期中の基準価額と市況等の推移	2
◇運用経過	3
◇1万口当たりの費用明細	7
◇売買及び取引の状況	8
◇利害関係人との取引状況等	8
◇自社による当ファンドの設定・解約状況	8
◇組入資産の明細	8
◇投資信託財産の構成	9
◇資産、負債、元本及び償還価額の状況	9
◇損益の状況	9
◇投資信託財産運用総括表	10
◇償還金のお知らせ	10
◇お知らせ	10

マザーファンドのご報告

◇世界高利回り社債マザーファンド（為替スマートヘッジ）	11
-----------------------------	----

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 金 騰 落 中 率			
(設定日)	円 銭		円	%	%	%	百万円
2013年2月20日	10,000		—	—	—	—	1,000
1期(2013年11月25日)	10,311		10	3.2	94.7	—	1,395
2期(2014年11月25日)	10,688		10	3.8	98.2	—	1,215
3期(2015年11月25日)	10,113		10	△5.3	95.8	—	983
(償還時)	(償還価額)						
4期(2016年10月20日)	10,750.06		—	6.3	—	—	953

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは、日本を除く世界の高利回り社債等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組	入 比	券 率	債 先	物 比	券 率
				騰	落						
	(期 首)		円 銭		%			%			%
	2015年11月25日		10, 113		—			95.8			—
	11月末		10, 136		0.2			96.1			—
	12月末		9, 759		△3.5			92.6			—
	2016年1月末		9, 535		△5.7			92.6			—
	2月末		9, 587		△5.2			91.7			—
	3月末		10, 030		△0.8			95.5			—
	4月末		10, 331		2.2			92.9			—
	5月末		10, 389		2.7			92.8			—
	6月末		10, 425		3.1			90.6			—
	7月末		10, 663		5.4			95.7			—
	8月末		10, 807		6.9			93.3			—
	9月末		10, 765		6.4			1.1			—
	(償還時)		(償還価額)								
	2016年10月20日		10, 750.06		6.3			—			—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

設定来の基準価額等の推移について

（第1期～第4期：2013/2/20～2016/10/20）

基準価額の動き

償還価額は設定時に比べ7.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



- ・分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ・実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なるため、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

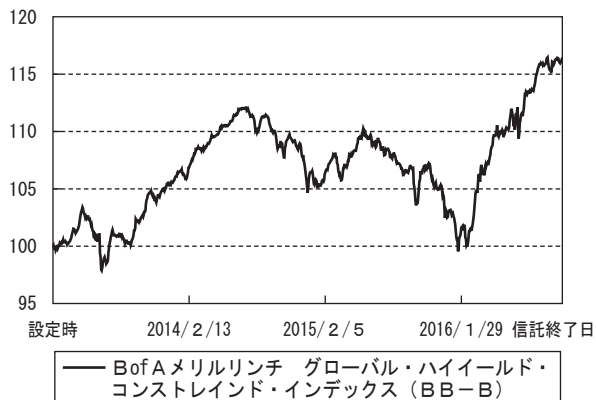
上昇要因

保有する債券からの利子収入の積み上げや為替スマートヘッジ戦略などが、基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

（第1期～第4期：2013/2/20～2016/10/20）

債券市況の推移
（設定時を100として指数化）



◎債券市況
・原油価格の下落などを受け、投資家のリスク回避姿勢が強まり、高利回り社債市況が下落する局面が見られました。しかし、米国経済が概ね堅調に推移したことが、ECB（欧州中央銀行）や日銀が緩和的な金融政策を継続したことなどを背景に投資家心理が改善し、信託期間を通じて見ると、高利回り社債市況は上昇しました。

（注）BofAメリルリンチ グローバル・ハイールド・コンストレインド・インデックス (BB-B) とは、BofAメリルリンチ社が算出する世界の高利回り債券の値動きを示す代表的な指数です。

◎為替市況

・為替市況については、当ファンドの主要投資対象であるマザーファンドの項で説明します。

当該投資信託のポートフォリオについて

<世界高利回り社債ファンド（為替スマートヘッジ）>

・主要投資対象である世界高利回り社債マザーファンド（為替スマートヘッジ）受益証券への投資を通じて、日本を除く世界の高利回り社債等を高位に組み入れた運用を行いました。

<第1期：設定時～2013年11月25日>

・基準価額は設定時に比べ3.2%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第2期：2013年11月26日～2014年11月25日>

・基準価額は期首に比べ3.8%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

<第3期：2014年11月26日～2015年11月25日>

・基準価額は期首に比べ5.3%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

<第4期：2015年11月26日～信託終了日>

・償還価額は期首に比べ6.3%の上昇となりました。

<世界高利回り社債マザーファンド（為替スマートヘッジ）>

- ・償還価額は設定時に比べ15.2%の上昇となりました。
- ・為替変動リスクを効率的に抑制しながら、中長期的な投資成果の向上をめざす為替スマートヘッジ戦略を活用しています。

◎為替市況

- ・設定時から2015年後半にかけては、米国が利上げサイクルに転じた一方、日銀は緩和的な金融政策を継続していることから、日米の金融政策の方向性の違いが意識されたことなどを背景に、米ドルは対円で上昇しました。
- ・2015年後半から信託終了日にかけては、中国景気に対する懸念の高まりや原油価格の下落、英国によるEU（欧州連合）離脱の選択などを受け、投資家のリスク回避姿勢が強まり、安全資産とされる円が主要通貨に対してほぼ全面高となる中、米ドルは対円で下落しました。
- ・信託期間を通じて見ると、米ドルは対円で上昇しました。

<第1期：設定時～2013年11月25日>

- ・基準価額は設定時に比べ4.6%の上昇となりました。高利回り社債の利子収入を享受したほか、パフォーマンスが良好であったB格相当の債券を企業のファンダメンタルズ対比でバリュエーションが魅力的と判断し多めに配分したことなどがプラスとなりました。為替ヘッジ比率は約70～約100%の間で調整しましたが、期後半にヘッジ比率を段階的に引き下げた際にドル高となったことで、その間のドル高の一部を享受しました。

<第2期：2013年11月26日～2014年11月25日>

- ・基準価額は期首に比べ5.7%の上昇となりました。高利回り社債の利子収入を享受したほか、パフォーマンスが良好であったB格相当の債券を企業のファンダメンタルズ対比でバリュエーションが魅力的と判断し多めに配分したことなどがプラスとなりました。為替ヘッジ比率は約70～約90%の間でコントロールしましたが、期末にかけてのドル高局面でヘッジ比率を約75～約85%程度としていたため、その間のドル高の一部を享受しました。

<第3期：2014年11月26日～2015年11月25日>

- ・基準価額は期首に比べ3.6%の下落となりました。高利回り社債の利子収入を享受したものの、下落した米国地域への投資比率を相対的に堅調な経済成長やバリュエーションの観点から高めとしたこと、下落したエネルギーセクターへの投資比率を保有資産が潤沢なことから高めとしたことなどがマイナスとなりました。為替ヘッジ比率は約75～約100%の間で調整しましたが、期を通じて見るとファンドのパフォーマンスへの影響は限定的となりました。

<第4期：2015年11月26日～信託終了日>

- ・償還価額は期首に比べ8.1%の上昇となりました。高利回り社債の利子収入を享受したほか、パフォーマンスが良好であったエネルギーセクターへの投資比率を保有資産が潤沢なことから高めとしたことなどがプラスとなりました。為替ヘッジ比率は約95～約100%の間で調整しましたが、期を通じて見るとファンドのパフォーマンスへの影響は限定的となりました。
- ・繰上償還決定後の2016年9月下旬より保有債券の売却を始め、現金にて保有しました。また、10月13日に為替ヘッジを解消しました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは、日本を除く世界の高利回り社債等を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。
- ・従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、第1期から第3期まで10円とさせていただきました。
信託期間中、累計で30円の分配を行わせていただきました。

償還価額

償還価額は10,750円06銭となりました。

信託期間中はご愛顧を賜り、誠にありがとうございました。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年11月26日～2016年10月20日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 166	% 1.622	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(97)	(0.952)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(65)	(0.632)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(4)	(0.039)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.049	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(5)	(0.044)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	171	1.671	
期中の平均基準価額は、10,220円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年11月26日～2016年10月20日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
世界高利回り社債マザーファンド（為替スマートヘッジ）	千口 —	千円 —	千口 919,445	千円 1,056,967

○利害関係人との取引状況等

(2015年11月26日～2016年10月20日)

利害関係人との取引状況

<世界高利回り社債ファンド（為替スマートヘッジ）>
該当事項はございません。

<世界高利回り社債マザーファンド（為替スマートヘッジ）>

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	%	うち利害関係人 との取引状況D	D C	%
為替先物取引	百万円 11,471	百万円 1,983	17.3	百万円 10,680	百万円 2,032	19.0
為替直物取引	885	235	26.6	1,794	237	13.2

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	期末残高(元本)	取引の理由
百万円 887	百万円 —	百万円 —	百万円 887	当初設定時における取得

○組入資産の明細

(2016年10月20日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	
		口	数
世界高利回り社債マザーファンド（為替スマートヘッジ）			千口 919,445

○投資信託財産の構成

(2016年10月20日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 961,188	% 100.0
投資信託財産総額	961,188	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況 (2016年10月20日現在)

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	961,188,151
コール・ローン等	961,188,151
(B) 負債	7,233,994
未払信託報酬	7,217,254
未払利息	1,231
その他未払費用	15,509
(C) 純資産総額(A-B)	953,954,157
元本	887,394,503
償還差益金	66,559,654
(D) 受益権総口数	887,394,503口
1万口当たり償還価額(C/D)	10,750円06銭

<注記事項>

- ①期首元本額 972,575,159円
 期中追加設定元本額 130,106円
 期中一部解約元本額 85,310,762円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.075006円です。

- ②「世界高利回り社債マザーファンド（為替スマートヘッジ）」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し年10,000分の56以内の率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。

○損益の状況 (2015年11月26日～2016年10月20日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 2,697
受取利息	576
支払利息	△ 3,273
(B) 有価証券売買損益	72,362,140
売買益	77,684,896
売買損	△ 5,322,756
(C) 信託報酬等	△15,818,242
(D) 当期損益金(A+B+C)	56,541,201
(E) 前期繰越損益金	6,988,770
(F) 追加信託差損益金	3,029,683
(配当等相当額)	(1,596,862)
(売買損益相当額)	(1,432,821)
償還差益金(D+E+F)	66,559,654

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年2月20日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2016年10月20日		資産総額	961,188,151円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	7,233,994円
				純資産総額	953,954,157円
受益権口数	1,000,540,891口	887,394,503口	△113,146,388口	受益権口数	887,394,503口
元本額	1,000,540,891円	887,394,503円	△113,146,388円	1万円当たり償還金	10,750円06銭
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万円当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	1,353,607,339円	1,395,646,747円	10,311円	10円	0.1%
第2期	1,137,294,610	1,215,525,581	10,688	10	0.1
第3期	972,575,159	983,556,099	10,113	10	0.1

○償還金のお知らせ

1万円当たり償還金（税込み）	10,750円06銭
----------------	------------

◆償還金は償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆課税上の取り扱い

- ・個人受益者の場合、償還価額から取得費（申込手数料（税込）を含みます。）を控除した利益（譲渡益）が譲渡所得等として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。
- ・特定口座（源泉徴収選択口座）を利用する場合、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収され、原則として、申告は不要です。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

【お知らせ】

- ①2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。
- ②当ファンドは、受益権の口数が投資信託約款に定められた口数を下回っており、投資信託契約を解約することが受益者にとって有利であると認められるため、信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。（2016年10月20日）

世界高利回り社債マザーファンド（為替スマートヘッジ）

《繰上償還(第4期)》信託終了日2016年10月19日

[計算期間：2015年11月26日～2016年10月19日]

「世界高利回り社債マザーファンド（為替スマートヘッジ）」は、この度、約款の規定に基づき、10月19日に繰り上げて償還させていただきました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第4期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	日本を除く世界の高利回り社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざします。 トップダウン・アプローチによるマクロ経済分析とボトムアップ・アプローチによる企業のファンダメンタルズ分析等を融合させてポートフォリオを構築します。 投資する債券は、原則として取得時においてB-格相当以上の格付けを取得しているもの、もしくは運用委託先の基準によりB-格相当以上と評価されているものに限り、デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。 米ドル以外の通貨建て債券等に投資した場合は、原則として、実質的に米ドル建てとなるように外国為替予約取引等を行います。 市況環境等に応じて対円での為替ヘッジ比率を柔軟に調整します。 債券等（為替ヘッジのために行う外国為替予約取引等を含みます。）の運用にあたっては、ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社に運用の指図に関する権限を委託します。また、ウエスタン・アセット・マネジメント株式会社は委託を受けた運用の指図に関する権限のうち、米ドル建て債券等の運用をウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニーに、ユーロ建ておよび英国ポンド建て債券等の運用をウエスタン・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッドにそれぞれ更に委託します。
主 要 運 用 対 象	日本を除く世界の高利回り社債等を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		期 騰 落	中 率			
(設定日) 2013年2月20日	円 銭 10,000		% —	% —	% —	百万円 998
1 期(2013年11月25日)	10,464		4.6	95.2	—	1,388
2 期(2014年11月25日)	11,056		5.7	99.7	—	1,198
3 期(2015年11月25日)	10,661		△3.6	96.1	—	980
(償還時) 4 期(2016年10月19日)	(償還価額) 11,523.39		8.1	—	—	949

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドは、日本を除く世界の高利回り社債等を主要投資対象とし、利子収益の確保および中長期的な値上がり益の獲得をめざしますが、特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円 銭	騰 落 率	債 組 入 比 率 %	債 先 物 比 率 %	券 率 %
		%			
(期 首) 2015年11月25日	10,661	—	—	96.1	—
11月末	10,688	0.3	—	96.3	—
12月末	10,305	△3.3	—	92.9	—
2016年1月末	10,084	△5.4	—	93.0	—
2月末	10,154	△4.8	—	92.0	—
3月末	10,641	△0.2	—	96.0	—
4月末	10,976	3.0	—	93.2	—
5月末	11,057	3.7	—	93.3	—
6月末	11,112	4.2	—	90.9	—
7月末	11,383	6.8	—	96.2	—
8月末	11,556	8.4	—	93.8	—
9月末	11,528	8.1	—	1.1	—
(償還時) 2016年10月19日	(償還価額) 11,523.39	8.1	—	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

償還価額は期首に比べ8.1%の上昇となりました。

基準価額の推移



●投資環境について

◎債券市況

・原油価格の下落などを受け、投資家のリスク回避姿勢が強まり、高利回り社債市況が下落して始まりましたが、その後原油価格が底堅く推移したほか、主要国の中央銀行が緩和的な金融政策を継続したことなどを背景に投資家心理が改善し、高利回り社債市況は上昇しました。

◎為替市況

・中国景気に対する懸念の高まりや原油価格の下落、英国によるEU（欧州連合）離脱の選択などを受け、投資家のリスク回避姿勢が強まり、安全資産とされる円が主要通貨に対してほぼ全面高となる中、米ドルは対円で下落しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・為替変動リスクを効率的に抑制しながら、中長期的な投資効果の向上をめざす為替スマートヘッジ戦略を活用しています。

◎為替ヘッジ比率

- ・為替ヘッジ比率は約95～約100%の間で調整しましたが、期を通じて見ると米ドルは対円で下落しましたが、ヘッジ比率を高位で維持していたことから、ファンドのパフォーマンスへの影響は限定的となりました。
- ・なお、米ドル以外の通貨建て高利回り社債等に投資をした場合は、原則として、実質的に米ドル建てとなるように外国為替予約取引等を行っています。

◎組入比率

- ・世界高利回り社債等を高位に組み入れました。
- ・繰上償還決定後の2016年9月下旬より保有債券の売却を始め、現金にて保有しました。また、10月13日に為替ヘッジを解消しました。

◎地域・業種（セクター）・格付配分

- ・地域別では、相対的に堅調な経済成長やバリュエーションの観点から米国地域への投資比率を高めとしたことは、市況が上昇したため、ファンドのパフォーマンスにプラスとなりました。一方、米国ほど堅調な経済成長は期待できないと見ていることから投資比率を抑えている欧州地域も、市況が上昇したため、ファンドのパフォーマンスにプラスとなりました。
- ・業種別では、保有資産が潤沢なことからエネルギーセクターへの投資比率を高めとしたことは、市況が上昇したため、ファンドのパフォーマンスにプラスとなりました。
- ・格付別では、バリュエーションの観点からBB格相当への投資比率を市場平均よりも低めとしたものの、市況が上昇したため、ファンドのパフォーマンスにプラスとなりました。

●償還価額

償還価額は、11,523円39銭となりました。

○1万口当たりの費用明細

(2015年11月26日～2016年10月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(7)	(0.062)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.001)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	7	0.063	
期中の平均基準価額は、10,862円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年11月26日～2016年10月19日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	社債券	千アメリカドル 3,229	千アメリカドル 11,017 (29)
	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
国	オランダ	社債券	—	— (50)
	イギリス	社債券	千イギリスポンド —	千イギリスポンド 170

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2015年11月26日～2016年10月19日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$ %	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$ %
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	11,471	1,983	17.3	10,680	2,032	19.0
為替直物取引	885	235	26.6	1,794	237	13.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2016年10月19日現在)

信託終了日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

(2016年10月19日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 949,509	% 100.0
投資信託財産総額	949,509	100.0

○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2016年10月19日現在）

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	949,509,086
コール・ローン等	949,509,086
(B) 負債	1,214
未払利息	1,214
(C) 純資産総額(A-B)	949,507,872
元本	823,982,868
償還差益金	125,525,004
(D) 受益権総口数	823,982,868口
1万口当たり償還価額(C/D)	11,523円39銭

<注記事項>

- ①期首元本額 919,445,507円
 期中追加設定元本額 0円
 期中一部解約元本額 95,462,639円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.152339円です。

- ②期末における元本の内訳（当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額）
 世界高利回り社債ファンド（為替スマートヘッジ） 823,982,868円

【お知らせ】

当ファンドは、この信託の受益証券を投資対象とすることを信託約款において定めるすべての証券投資信託が、その信託を終了させることとなったため、信託約款の規定に基づき、信託を終了しました。
 (2016年10月19日)

○損益の状況（2015年11月26日～2016年10月19日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	45,791,228
受取利息	45,626,059
その他収益金	172,833
支払利息	△ 7,664
(B) 有価証券売買損益	31,537,253
売買益	269,713,970
売買損	△238,176,717
(C) 保管費用等	△ 612,592
(D) 当期損益金(A+B+C)	76,715,889
(E) 前期繰越損益金	60,806,476
(F) 解約差損益金	△ 11,997,361
償還差益金(D+E+F)	125,525,004

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。